

(桜の木の下に)



むかし、まだ中学生の頃、こんな話を聞きました。

「桜の木の下には、死体が埋まっているんだよ。桜の花びらがほんのりピンク色をしているのは、その血を吸って花開くからだよ」と。

その話を聞いたときに、一瞬ゾクッとした覚えがあります。

何で、この人はそんなことを思いついたんだろう？僕にはただただきれいにしか見えない同じこの花を見て、なんでそんなことを考えたんだろう？このひとの目にはいったい何が映っているんだろう？

それが分からずに、少し怖くなったのです。

しかし、その後50年近く生きてきてみると、実はそんな予想外のものの見方を人がすることの方が遙かに多いことが分かってきました。

自分以外の見方があると言うことを知ることはとても大切なことだと理解はしましたが、これってやはり結構怖いことなのだと最近痛切に感じるようにもなりました。